

戦後、日本は混乱の中、産業を立て直し、高度成長を遂げ経済先進国になりました。その間、1960年代の公害を乗り越え環境立国に、70年代のオイルショックを乗り越えエコ立国となり、最近では世界トップクラスの長寿社会を実現することができました。今はいろいろな物が手に入り、おいしいものを食べることができ、いわゆる人々の生活は豊かになりました。AI（人工知能）なるものも出現してきました。では次はどのような課題が来るのでしょうか？

認知症の人は2025



老後は自分との闘い

岐阜薬科大副学長 原 英彰

年には約700万人になり、65歳以上の高齢者は5人に1人に上昇すると言われています。早急な対策が求められています。認知症の進行を抑える薬がなく、新薬の開発が国内外で進められています。認知症予防には、運動する、食事に気をつける、何事にも興味を持つ、社会的な活動をする、ことが大切と言われています。ですが、年を取ってからは、年を取ってからは、急にできるものではありません。ではどうすれば良いのでしょうか？

前述の課題に対しては、残念ながら確実な答えはありません。量から

質へと時代が変化し、表面から内面の充実が求められるようになりました。日本は長寿を目指して頑張ってきましたが、それが達成され、皮肉にも長寿社会の充実が課題となりました。人の内面の充実に、国が対策を取ることには限界があります。個人が考えてこの長寿社会を生きていく覚悟が必要です。老後は自分との闘いです。

そういう私が一番心配です。NHKのチコちゃん^①の台詞ですが、「ポーンと生きてんじゃねーよ！」と言われたいようにしたいと思っています。